

Campus Life

E 学生生活の悩み・相談

- 総合サポートデスク ……65
- 保健管理センター ……66
- 学生相談室 ……67
- ハラスメント相談 ……69
- 修学上の困難を抱える学生のために……71
- ダイバーシティ研究環境支援本部 ……73

● 総合サポートデスク

総合サポートデスクは、「受講時の困り事について話を聞いてほしい。」や「大学のどこに相談したらいいのかわからない。」等、気軽に相談できる相談窓口です。キャンパスソーシャルワーカーが常駐しています。どのような相談でも構いません。悩み事について一緒に考えます。

必要に応じて学内の支援部署や学外の相談窓口に関する情報を提供します。

開室時間： 10:00 - 16:00 (土日祝日除く)

場 所： E棟1階103 サポートルーム

メール： [narajo.csw\[at\]cc.nara-wu.ac.jp](mailto:narajo.csw[at]cc.nara-wu.ac.jp)

メール送信の際は、[@]を@に置き換えて下さい。

利用方法： 上記、開室時間に直接来室して下さい。予約は不要ですが、不在もしくは面談対応中の場合は、メールにてご連絡ください。

不安がある時、困った時、
誰に相談して良いか迷った時、
お気軽に相談してください。



1) 利用時間

9:00～17:00（土・日・祝祭日・大学休業日等を除く。出張等で不在の場合もあります）相談は16:00までをお願いします。

2 利用の注意事項

- ・体調不良の学生や急病の学生がいますので、静粛に入室してください。
- ・応急処置はしますが、内服の処方は原則として出来ません。頭痛や腹痛時の頓服（痛み止め）は、自分に合ったものを携帯しておくようにしてください。
- ・学内では、生理用品やばんそうこうなど、衛生用品は生協売店で購入してください。

3 大学生活での病気やケガの対応方法


★保健管理センターは病院ではないため、治療はできません。

学内での傷病時に一時的な応急処置をし、必要時には医療機関を案内します。

明らかな病気（発熱・風邪・下痢嘔吐）やケガ（捻挫・打撲）の場合は、直接、医療機関を受診してください。

★調子が悪い時は、がまんをしないで医療機関を受診してください。

1人で歩けない
ときは...

- 
- 1) タクシー、または救急車を呼ぶ
 - 2) 発熱の場合は、冷やすなどの工夫をして受診する
 - 3) 保護者に状況を報告しておいてください

★医療機関の診察時間は限られています。

高熱、嘔吐や下痢時などに、診察の後点滴をすると、処置に2時間以上かかります。

そのため、診察時間終了間際に受診すると、断られる場合がありますので、時間に余裕をもって受診してください（特に夕方の診察）。

※また、発熱や咳など感染症が疑われる症状のある場合は、事前に医療機関へ電話をし、受診時の注意について指示を受けてください。

4 寮生や下宿生のみなさんへ

一人で体調が悪くなった場合や、ケガで歩けない場合は、診察時間内であれば、大学近くの病院に自分で連絡し症状を伝えてタクシーを呼んでください。

自力で動けないときは「119番」に〈病気です〉と連絡してください。救急隊より、適切な指示を受けることができます。体調不良の際は早めに受診してください。

5 救急箱を各自で備えておきましょう

- ・体温計／ばんそうこう／冷却ジェルシート／湿布など
- ・自分に合った解熱鎮痛剤や胃薬など
- ・スポーツドリンク／経口補水液／おかゆ等のレトルト食品

6 近隣医療機関情報

近隣の医療機関の情報については、保健管理センターの以下のページに掲載しています。

<https://blog.canpan.info/narahokekan2/archive/85>

● 学生相談室

学生相談室は、あなたの身近な相談相手です。

学生生活を送る中でのさまざまな悩み…

一人で考えてもなかなか光が見えてこない…

友人や家族には打ち明けにくい…

相談したいことがあるがどこに行けばいいのかわからない…

そんな時、学生相談室のドアをノックしてみてください。



学業や、進路の不安、心身の不調、対人関係の悩み、日常生活で困ったこと、その他様々なトラブル（迷惑電話・ストーカー被害・痴漢被害・悪徳商法被害・架空請求詐欺）等々
相談の秘密は守ります。

◇相談の流れ

平日午前10時～午後5時に、相談受付の担当者が在室しております。

相談内容により、専門のカウンセラーや本学の相談員（本学教員）がお話をお聞きします。（予約制・無料）お話をうかがった上で、一緒に解決方法を考えましょう。

適切な窓口や機関を紹介することもできます。

◇詳しくは

相談室ホームページ <http://www.nara-wu.ac.jp/soudan/>

しおり『奈良女生のための学生相談室』

◇お問い合わせ

電話 0742-20-3925

e-mail soudan@cc.nara-wu.ac.jp

相談室前のポストもご利用ください。





相談室へはどう行けばいいの？



大学会館北口（運動場側）付近の階段またはエレベーターで3階まで上り、廊下に沿って一番奥まで来てください。静かな、窓から見える緑のきれいなところですよ。



大学会館3階
(大学会館は生協食堂のある建物です)



どんな相談でもいいの？



結構ですよ。
奈良女子大生の学生生活を援助することが目的です。



誰が相談に乗ってくれるの？



スタッフは下記のとおりです。

- ◇相談受付（相談の申込みを受け付けます） 2名
- ◇カウンセラー（臨床心理士・公認心理師） 3名
- ◇相談員（本学教員） 4名
(各学系から1名ずつ)



詳しくは相談室ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

開室日と開室時間

- ・月曜～金曜日（祝日は除く）午前10時～午後5時
- ・長期休業中の開室日や臨時開室日については、相談室ホームページ及び相談室前の掲示でお知らせします。

● ハラスメント相談

奈良女子大学は、ハラスメントの防止に取り組んでいます。本学のすべての構成員がお互いの人格を尊重し、信頼できるパートナーとして認め合える人間関係をつくり、快適な教育・研究・就労環境を築くために、ハラスメント相談員制度を設けています。

ハラスメントとは、人としての尊厳を侵害する言動のことで、教育・研究上、または職務上の優位な立場にある者から逆らえない立場にある者への、不快にさせるような性的な言動（セクシュアルハラスメント）や、修学や研究、あるいは就労における不適切な言動（アカデミックハラスメント、パワーハラスメント）などがあり、これらの言動によって修学や就労の遂行が妨げられたり、教育・研究環境や職場環境が害されることがあります。

ハラスメントの被害を受けたときは、ひとりで悩まず、「ハラスメント相談員」に相談しましょう。相談員はあなたのプライバシーを守ります。安心して相談してください。相談は匿名でも結構です。また、自分ひとりでは相談に行きにくいときには、親しい友人などの同伴も可能です。ハラスメントに該当するかどうかわからなくても、困っているのであればまずは相談してください。相談員が一緒に対応を考えます。

ハラスメントの一例：

- ・些細なミスを大声で叱責したり、あえて人前で叱責する。
- ・暴言を吐くなど、人権を侵害するような言動をする。
- ・研究室に長時間拘束したり、泊りでの実験を強制する。
- ・卒業研究の指導や論文指導をしないなど、必要な教育上の指導をしない。
- ・成績の不当な評価を行ったり、無関係な事柄を成績に結びつける発言をする。
- ・研究発表活動（論文や学会発表等）を不当に制限する。
- ・教育・研究とは無関係な私的な用事をさせたり、イベントに付き合わせる。
- ・研究室の他のメンバーに対して正当な理由なく関係を断絶させる。
- ・研究業績を他の者に変更するよう圧力をかける。
- ・就職、奨学金、研究員などの申請に必要な推薦書を書かない。
- ・他の大学院の受験・他の研究教育組織への異動を、妨害もしくは強要する。
- ・相手の身体の一部（肩、背中、腰、頬、髪など）に不必要に触れる。
- ・上下関係を利用して特定の相手と二人きりになる機会を故意に作ったり、交際を迫る。
- ・出張への同行やゼミ旅行等への参加を強要する。
- ・親睦会等で女性がお酌などの接待的振る舞いをするを当然視する。
- ・特定個人のセクシュアリティ（性的指向や性自認など）に関する風評を流す。



1 相談の申込方法

手紙、電話、E-mail など、あなたの最も利用しやすい方法で相談員に直接連絡してください。

あるいは、「ハラスメント相談箱」に相談内容、連絡先等を記入した「相談受付カード」を投函すれば、相談員からあなたにご連絡します。(相談受付カードは相談箱に備え付けのほか、大学ホームページからもダウンロードできます。なお、相談受付カード以外の便箋などでもかまいません。)

【ハラスメント相談箱】 大学会館に設置しています

- ① 2階入口 (中庭側の外階段を上がったところ。24時間投函可能)
- ② 1階エレベーター前 (運動場側入口を入ったところ。月～土9時～21時)

2 相談員連絡先

相談員は全学に配置されており、どの相談員にも相談できます。あなたの所属する学部・研究科にこだわらず、自由に連絡をとってください。

相談員は、原則として相談者と同性の相談員を含む2名で相談に応じます。相談者の悩みを親身に聞き、相談者が望んでいる解決の仕方を尊重して、その解決に助力します。

相談員番号	所属・職名	相談員氏名	内線番号	部屋番号	メールアドレス
1	文学部 准教授	前田真砂美	3277	N 2 1 9	mmaeda@cc.nara-wu.ac.jp
2	文学部 准教授	笹本 涼子	3289	S 2 1 5	ryoko.sasamoto@cc.nara-wu.ac.jp
3	理学部 准教授	佐野 めぐみ	3361	C 4 1 9	sano@cc.nara-wu.ac.jp
4	理学部 准教授	川野 絵美	3935	B 4 0 6	kawano@cc.nara-wu.ac.jp
5	生活環境学部 教授	吉本 光佐	3494	D 3 0 1	misayoshimoto@cc.nara-wu.ac.jp
6	生活環境学部 専任講師	藤本 花音	3268	E 4 5 4	fujimoto.kanon@cc.nara-wu.ac.jp
7	工学部 専任講師	大高 千明	3897	H 2 0 5	ohtaka@cc.nara-wu.ac.jp
8	大学院人間文化総合科学研究科 専任講師	森田 俊吾	3778	S 2 1 6	mshungo@cc.nara-wu.ac.jp
9	大学院人間文化総合科学研究科 准教授	堀 沙耶香	3028	B 1 0 5-2	hori@cc.nara-wu.ac.jp
10	附属中等教育学校 養護教諭	林 雅子	26-2571	中等教育学校	msk.hayashi@cc.nara-wu.ac.jp
11	附属小学校 主幹教諭	河田慎太郎	45-4455	小学校	s-kawata@cc.nara-wu.ac.jp
12	研究協力課 社会連携推進係長	鈴鹿 由依	3968	研究協力課	suzuka.yui.se@jm.nara-ni.ac.jp
13	機構総務課 総務係長	清水 努	3204	機構総務課	shimizu.tsutomu.g6@jm.nara-ni.ac.jp

※相談員の所属等については変更となる場合がありますので、最新の情報については、大学ホームページをご覧ください。

詳しくは、リーフレット『STOP! the キャンパスハラスメント 相談の手引き』または大学ホームページ (トップページ>学生生活>学生生活に悩んだときに>ハラスメント) をご覧ください。

● 修学上の困難を抱える学生のために [学生特別支援室]

学生特別支援室

学生特別支援室では、修学上の困難を抱える学生からの申し出に基づき、個々の学生が自ら主体的に学ぶことができるようソフト面・ハード面での環境調整を行っています。

● 学生特別支援室の役割

1. 修学上の相談

障害や病気等を理由に授業や大学生活において社会的障壁が生じ、これについて学生が合理的配慮の申請を行う場合、学生特別支援室で相談に応じています。

2. 授業における配慮の調整

障害等のある学生から合理的配慮の申請があった場合、後段「●合理的配慮の申請について」のとおり所定の手続を経て、学生特別支援室から授業担当教員へ「合理的配慮依頼書」を配付し、円滑に合理的配慮を受けられるように調整します。

3. 支援のコーディネート

授業での支援（ノートテイク、代筆、移動支援等）を構築し、サポートを行う学生等を派遣します。

4. サポートを行う学生の養成

5. 設備・備品の整備

● 合理的配慮の申請について

下記のような流れで合理的配慮の申請を受け付けています。
新1年生の場合は、入学確定後、すみやかにご相談ください。

1. 修学相談の受付

障害や病気等を理由とした修学上の合理的配慮を希望する場合、学生特別支援室へご相談ください。コーディネーターが申請手続について説明します。

2. 面談（1回目）

コーディネーターが状況の聞き取りを行い、必要に応じて合理的配慮申請書の記入についてもサポートします。

3. 合理的配慮申請書の提出

学生は所属部局に合理的配慮申請書を提出します。（コーディネーター経由で提出します。）

4. 面談（2回目）

合理的配慮申請書を基に作成した合理的配慮依頼書（案）の内容について、所属部局教員・コーディネーター等と面談を行います。

5. 配慮内容の決定

4. の内容について、学生特別支援室による学内での承認手続きを行います。

6. 合理的配慮依頼書の配付

5. で承認が得られた文書を学生特別支援室（学務課）から授業担当者へ配付します。

7. フォロー面談、学期の振り返り面談

コーディネーターが定期的に学生と面談を行います。

※ 注意点：合理的配慮申請書は年度ごとに提出が必要ですが、年度途中で内容に変更が生じた場合はあらためて申請書（変更）の提出が必要となります。合理的配慮を希望する授業科目については、学期ごとに確認します。

サポートルーム

障害や病気等を理由に修学上の相談をサポートルーム（E棟103号室）で受け付けています。コーディネーターが常駐しています。障がい学生支援に関する資料や、SOGI 関連の図書も置いていますので、気軽に訪れてください。

開室時間： 10：00 - 16：00（土日祝日除く）

場 所： E棟1階103 サポートルーム

メール： 学生特別支援室 needs[[@](mailto:needs@cc.nara-wu.ac.jp)]cc.nara-wu.ac.jp

メール送信の際は、[[@](mailto:needs@cc.nara-wu.ac.jp)]を@に置き換えて下さい。

利用方法： 上記、メールアドレス宛に、件名には「面談希望」と入れていただき、本文にはお名前、連絡先、面談希望日時等を入れてご連絡ください。日程調整の上、コーディネーターから連絡します。もしくは開室時間に直接来室してください。不在もしくは面談対応中の場合は、メールにてご連絡ください。

● ダイバーシティ研究環境支援本部

ライフイベントや心と体の不安に寄り添って、ワーク・ライフ・バランスを支えます!

奈良女子大学に所属する学生から教職員の皆さまは、妊娠・出産・子育てといったライフイベントに悩むこともある世代です。ダイバーシティ研究環境支援本部では、男女問わずすべての方に対し、学業・研究活動・仕事との両立の悩みを少しでも減らし、いきいきと過ごしてもらいたいと、2006年度から両立支援の取り組みを続けています。

◇ワークライフバランス支援相談室

女性のからだところの健康相談をはじめ、妊娠・出産・育児に関する相談に、専門家が応じます。学生と教職員は男女問わずご利用いただけます。不調や不安を我慢せず、話してみませんか。カウンセラーの紹介や相談日程・予約など、詳しくは男女共同参画推進機構 HP をご覧ください。

◇子育て支援システム

奈良女子大学の子育て支援は、「共助の精神」を大切にしています。支援を必要とする方だけが助けられるのではなく、支援者も支援を通じて様々なことを学び、共に成長していくことができます。子育て中の本学関係者（男女を問わず）が利用者として登録し、地域の一般の方や本学学生が支援者（サポーター）として登録します。学生はサポーターとして登録し支援を行うことで、自身のロールモデルに接し、将来の生活や時間の使い方のヒントを得ることができます。また、地域の様々な年代の方と接することで、世代ごとの考え方を知り、柔軟な考え方を養うことができます。子育てを支えてくれる人がたくさんいる、それを知ることはこれから子育てに関わる世代の皆さんにとって有意義な経験となることでしょうか。この活動に参加して世界を広げてみませんか。

○ならっこネット

ならっこネットは、学業・研究・仕事と子育ての両立に奮闘する利用者の方に子育て支援サポーターを派遣するシステムです。利用者・サポーターの両方を常時募集しています。どちらもあらかじめ登録が必要なため、来室予約を取ってください。

支援は有償で、利用者がサポーターに経費を支払います。学生利用者には育児奨学金制度があり、半期ごとに2万円を上限に、経費を大学が補助します。また、支援中の事故に対しては、本学が加入している保険が適用されます（利用者・サポーターに保険料の負担はありません）。

また、2021年春には、念願であった「訪問型」病児・病後児保育を行う「ならっこ病児・病後児保育支援」を立ち上げ、病後児保育支援から開始し、2024年10月から病児保育支援の本格運用も行っています。病児・病後児保育支援をご利用の場合、大学から、経費の半額補助を受けることができます。

○ならっこイベント

本学関係者が主催する様々なイベントでの託児を行います。もちろん、託児にあたるのは子育て支援サポーターです。ベテランサポーターに混じって、学生サポーターも頑張ってくれています!

○サポーター講習会

サポーター登録後、託児支援のサポーターとして活動していただくための基礎知識とスキルを学ぶ、「通常（健康時）託児支援のための講習」を受講していただいています。また、「病児・病後児保育支援のための講習」、子育て支援に関する知識と技術をより深めていただくための「フォローアップ講習」も毎年実施しています。関心のある方は、ダイバーシティ研究環境支援本部までご連絡ください。

子育て支援サポーターが、利用者の子どもを支援します

「利用者」はどんな利用ができるの？



サポーターに子どもの送迎・預かり（大学内ならっこルームや自宅などで）を有償で依頼できます。2021年春から、「訪問型」病児・病後児保育支援が始まりました。



ならっこちゃん

サポーターに支払う経費

● 1時間あたり 平日 9時～18時 700円
上記以外の時間 800円
病児・病後児については 900円
+サポーターの交通費

利用者になれる方

本学に在籍する方で、3カ月～小学6年生の子どもを持つ方

※病児・病後児利用は1歳からです。

※学外者で所用のため一時的に本学に來られる方もご相談ください。

利用者になるには…

まず本部に來室し、利用者登録をしてください

※登録は無料です。

メールや電話で來室予約を取ってください。

ニーズに応じてコースを選びます

- ・ならっこコース…専属サポーターを配置します
- ・面談でマッチングします
- ・プチならっこコース…専属を設けません

いつでも依頼できます！

※病児・病後児利用の場合は、別途手続きが必要です。

「子育て支援サポーター」って何をやるの？

有償のボランティアです。ならっこネットの共助サポーターのほか、ならっこイベントでも活躍中



各種講習会、勉強会もあります！



ならっこネットキャラ
ジョシカちゃん

ならっこネットの経費

● 1時間あたり
集団託児 1,000円・1,300円
個別託児 700円・800円
病児・病後児託児 900円
+サポーターの交通費

サポーターになれる方

18歳以上の健康な方

※忙しい方でもOK。授業の空き時間や週末など、時間のあるときに支援依頼があれば協力してください。たくさんの方が登録して受け皿が大きくなると、利用者は心強く感じます。

サポーターになるには…

「サポーター登録説明会」に参加

「託児支援講習」を受講

サポーターとして活躍！

※登録・受講は無料です。

※メールや電話でまずは「登録説明会」の参加お申込みをお願いします。

※病児・病後児利用サポーターになるには、追加講習の受講が必要です。

◇子育てママ&パパにやさしい大学へ

預かり専用室『ならっこルーム』や、授乳やオムツ替えに使えるフィッティングルーム、幼児用便座やベビーキープを備えたトイレの位置をまとめた『子育て応援MAP』があります。必要な方に差し上げます。



フィッティングルームはどなたでも使えます。きれいに使ってね♪



◇教育研究支援員制度

出産・子育て・介護等に携わる教員や病気・怪我の理由により支援を必要とする教員に、博士課程修了生や博士前期・後期課程の大学院生などを支援員として配置しています。支援員は、支援により研究・教育活動に関する様々なスキルを学べます。



詳しく知りたい方・お問い合わせはこちらへ

本部室：G棟406号室

開室日時：月～金曜日 午前9時～午後6時

Tel/Fax：0742-20-3344

E-mail：shien@cc.nara-wu.ac.jp

URL：https://gepo.nara-wu.ac.jp/

上記条件に当てはまらない場合でも、子育て支援が必要なら相談してね。ベストな方法をスタッフが一緒に考えます。

ならっこちゃんも
応援しています

